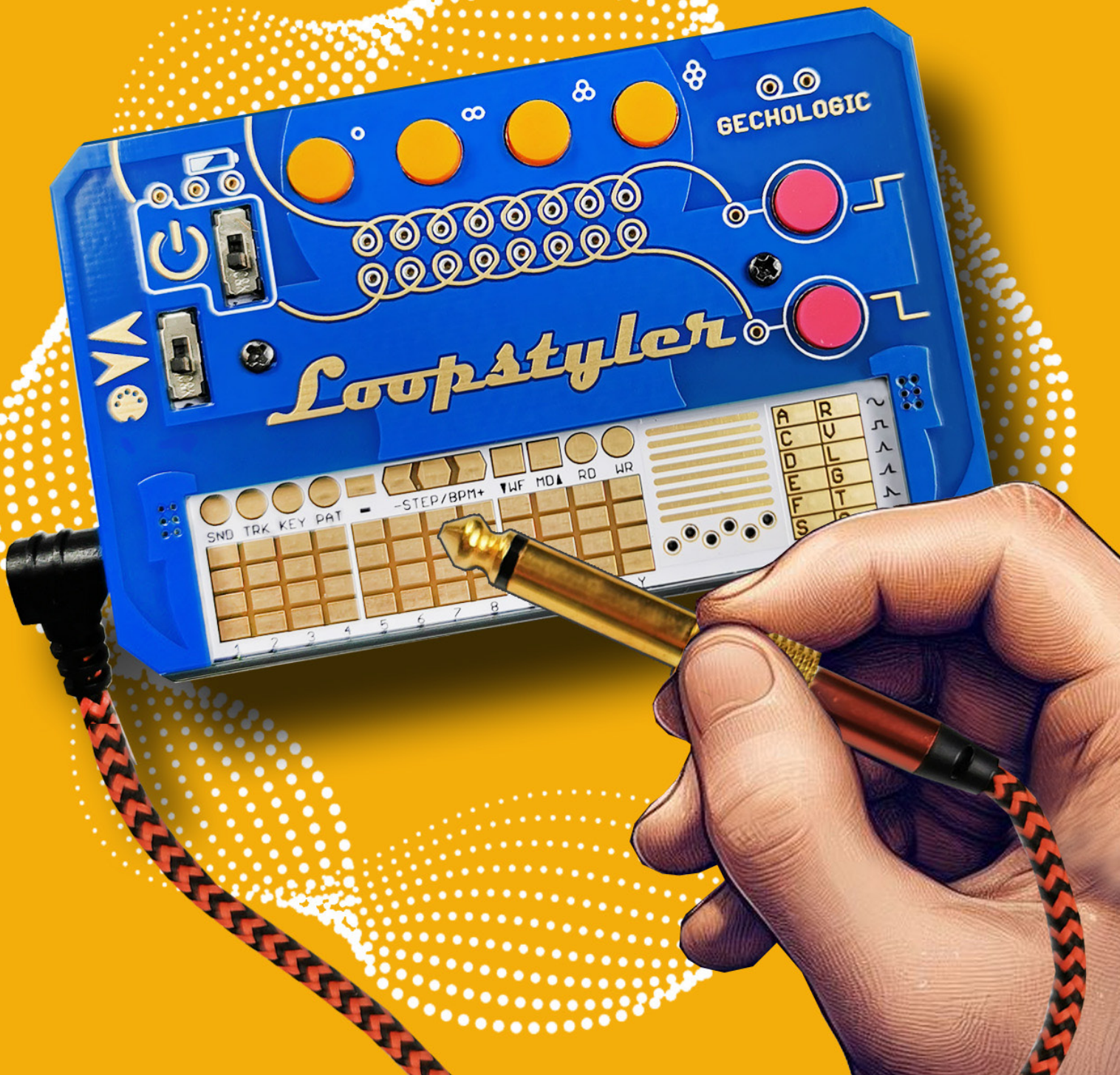


OWNER'S MANUAL

# LOOPSTYLER

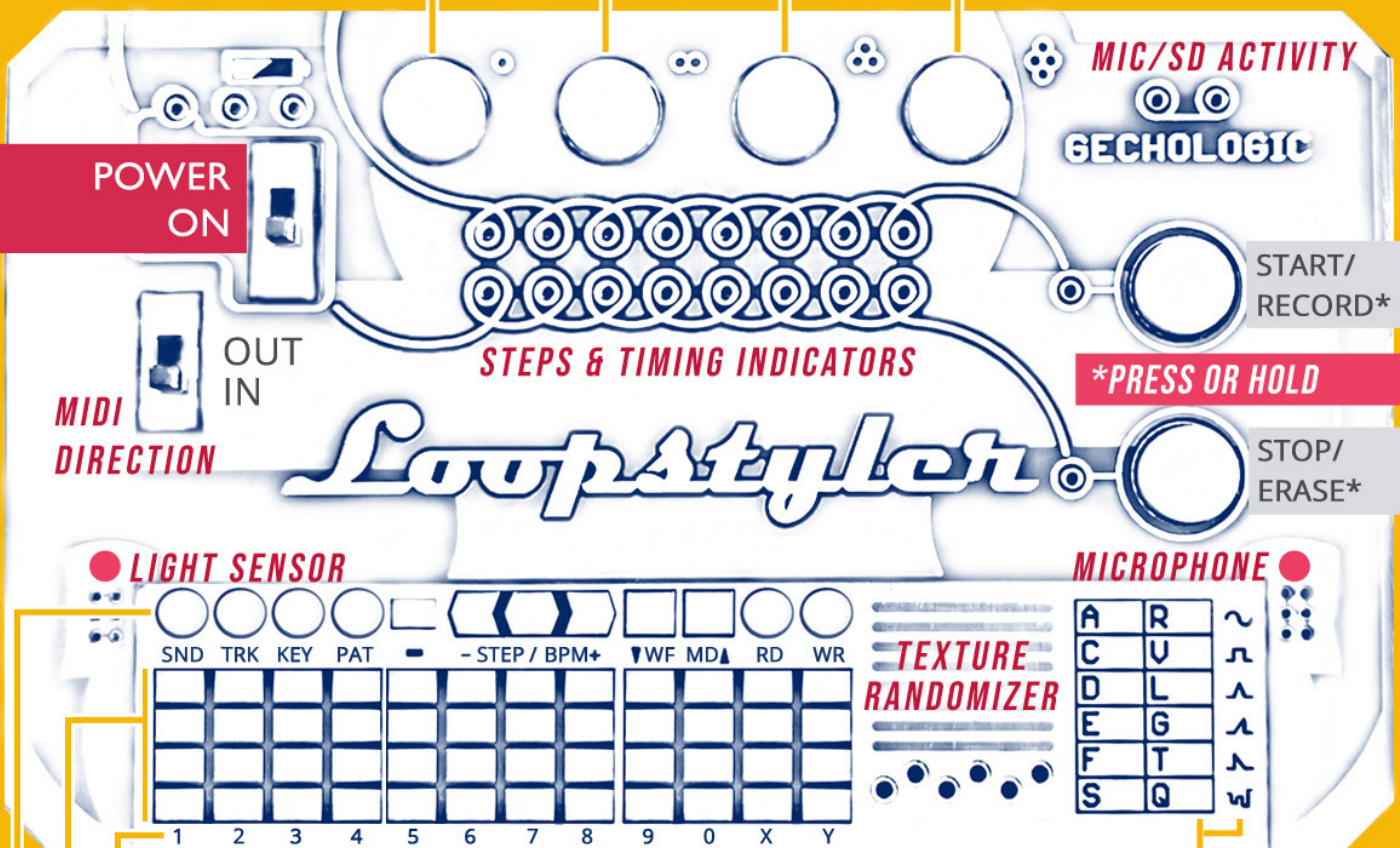
INTERACTIVE POCKET SYNTHESIZER



スタイラスを使用してキーで演奏しよう！

● オペレーションモード

Easy Play | Tape Loop | Multitrack Sequencing | Chords Programming



数値パラメーター入力用キー  
(パッチ番号、トラック、テンポなど)

コマンドキーと波形セレクト

プレイ可能なキーのエリア

SND	サウンド、サンプル、バンク
TRK	レコーディングまたはパラメーター・トラック
KEY	キー、スケール、オクターブ
PAT	パッチ、パターン
-	休符、ボイスの停止、コマンドのキャンセル
STEP /	シーケンスのナビゲート、プレイヘッドのコントロール、 または様々なパラメータ
BPM	テンポの設定、調整(BPM)
WF	波形やLFOのセレクト(サイン、スクエア、トライアングル、ソー、ランダム) / ↓
MD▲	ピッチ、フィルターカットオフへのモジュレーション セレクト、または様々なエフェクトパラメーター / ↑
RD	Read(ユーザーシーケンスやパターンなどのロード)
WR	Write(パッチの保存、または他のユーザーコンテンツ)

Loopstylerが過剰に話したり  
ビープしたりしますか？

問題ないですよ！コマンドVCを使えばVoice Commentsをオン/オフできます！

同じようにコマンドSFはスタイラスフィードバックを、CTはシーケンスやテープループの録音のためのクリックトラックです。

# コネクター端子とメモリーカード



マイクロ USB  
(パワー&データ)

MIDI 入出力

スタイラス

ヘッドホン

ライン入力\*

\* コマンド ADC でマイクとライン入力を切り替えできます。  
またはコマンド AD1/AD2 でどちらかを選択できます。

## PC への接続時

USB 経由で、Loopstyler の SD カードがディスクドライブとして認識されます。サンプルのアップロードやダウンロードに便利です。手動で WAV フォーマットの録音を PC/DAW に転送したり、ファームウェアのアップデートも可能です。



カードの差し込みはコンタクトが上向きになるように逆向きに差し込みます。

SD Card slot

カードスロットはプッシュタイプなので、カードを取り出す際は軽くプッシュすると、クリック感があり、その後でカードが抜き出せるようになります。

カードを取り外して PC / カードリーダーに挿入する必要はほとんどありませんが、大量のファイルを転送する場合は、この方法が便利で高速な場合があります。SD カードには、システムとデータ用の複数のパーティションが含まれています。古いオペレーティングシステムでは、Loopstyler の USB ケーブルではなくカードリーダー経由でカードにアクセスすると、サンプルやユーザーデータが含まれるパーティションではなく、システムパーティションにしかアクセスできない場合があります。

SD カードを挿入または取り外すときは、次の点に注意してください。ユニットの電源がオフになっていることを確認し、過度な力を加えないでください。また、機構内のバネによってカードが飛び出し、後でカードを見つけるのが困難になる可能性があります。注意してください。

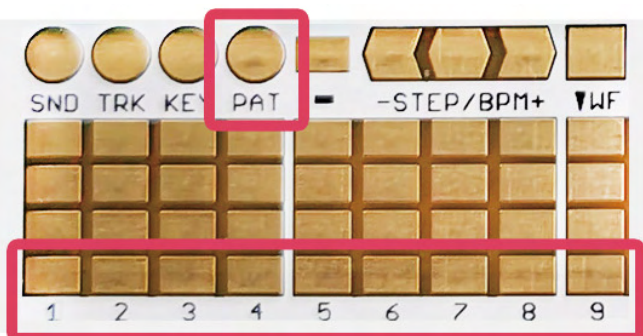
## 電源のオンとオフ

Loopstyler の内部には Linux を実行する小さなコンピューターがあり、その OS が起動するまでに数秒かかります。また、大型コンピューターと同様に、その電源をランダムに切るのはあまりよくありません。USB 電源を取り外すときは、データ破損のリスクを最小限に抑えるために、電源スイッチを使用し、左上隅の赤い LED が点灯しなくなるまで待ってください。ユニットに内部 Li-Po バッテリーが取り付けられている場合は、いつでも安全に電源を抜いても問題ありません。システムが予期せぬ停止に陥ったり応答しなくなったり、電源をオフにしても数秒以内にシャットダウンしない場合は、STOP ボタンを押します。これにより (電源がオフに設定されている間) ハードリセットが実行されます。

## イージープレイモード

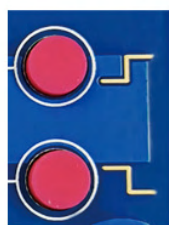
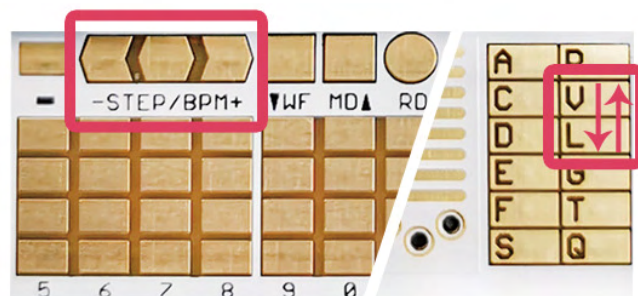
# EASY PLAY MODE

このモードは電源投入直後に有効となり、最初のパッチをロードします。スタイラスを使用してキーボードを演奏して、サウンドを探索できるようになります。



別のパッチを選択するには、PAT キーをクリックしてから番号をクリックします。パッチ 10 以降を選択する場合は、PAT を 2 回クリックします。これにより、Loopstyler は、その後 2 桁を認識します。

ボリュームレベルを調整するにはコマンド VL を、それらのキーを順にクリックすることでセレクトします。赤い LED がボリュームメニューに入っていることを表します



レベルを上下させるには、+/- キー、または START/STOP を短く繰り返し押します。完了したら最初の黄色い

ボタン




または REST キー



をクリックしてメニューを出ます。

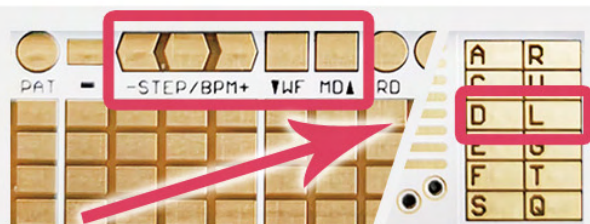
入力レベルはコマンド LV と同じように機能します。

また、出力レベルと入力レベルはセンターキーで切り替えられます。

センターキー → 

または、START/STOP を赤い LED が変化するまで長押しします。出力レベルと入力レベルのコントロールを切り替えることができます。これらのボタンは HP および IN コネクタの位置に対応しているため、どれがどれであるかを簡単に覚えられます。

ディレイはステレオであり、左右のチャンネルに個別に設定することも、一緒にリンクすることもできます。コマンド DL から開始し、-/+ を使用して左/右チャンネルを選択、またはセンターキーはリンクされたディレイコントロールです。



次に、プレイエリア内の任意のキーをクリックして、左下のコーナーから右上のコーナーまで増加する値をセットします。完了したら、「REST」キーをクリックします。



← REST KEY

エフェクトの強さを制御するには、上矢印 (MD キー) をクリックし、プレイ可能エリアのキーを使用してレベルを調整します。下矢印 (WF キー) はディレイエフェクトを完全にオフにします。ディレイをオフまたはオンに再度切り替えるには、DL コマンドを呼び出す代わりに、コマンド DD (ディレイ無効) および DE (ディレイ有効) を使用するだけです。



ここでも、音量コントロールと同様の方法でボタンを使用できます。START/STOP を長押しすると、タイミング (左右はリンク) と強度コントロールの間でセレクトされ、短く押すと値を上下に調整できます。

## イージープレイモードの他のファンクション

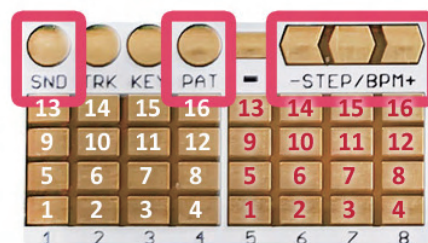
### Additional functions available in the Easy Play mode

EUCLIDEAN RHYTHMS は非常に興味深いパターンジェネレーターで、ドラム、サウンドエフェクト、ファストディケイのベースサウンドなどのパーカッシブなサンプルに最適です。これを呼び出すには、適切なパッチをロードし、コマンドで ED を入力します。青色の LED ライトはパターンでアクティブなトラックの数を示します。START を使用して再生を開始します。



黄色の LED ライトはトラック イベントの発生を示します。トラックの量を 1 ずつ変更するには、TRK キーと +/- を使用するか、数値を直接設定します。例) TRK6。再生を停止するには STOP ボタンを使用し、このジェネレーターを終了するには QT (終了) コマンドを使用します。

サンプルをトラックに割り当てるには、SND キーを使用し、プレイ可能エリアからキーをクリックします。サンプルを割り当てるトラックを選択するには、-/+ キーを使用します。対応する青色の LED ライトが点滅し続け、作業中のトラックを示します。



同様に、PAT キーを使用してタイミングを設定できます。青色 LED ライトがパルスから点滅にどのように変化するか注目してください。4x4 キーの最初のグループ (上の白い数字で強調表示) のキーをクリックしてトラック内のイベントの量を設定し、2 番目のグループのキー (赤い数字) でトラックの長さを設定します。

たとえば、3:7 ビートのリズムを定義するには、3 をクリックしてから 7 をクリックします。長さやヒット数が異なるトラックを組み合わせることで、驚くほど興味深いリズムを作成することができます。また、サンプルとタイミングをすばやく切り替えるには、センターキーを使用します。



タイミングとサンプルをランダム化するには、WF キーと MD キーを使用してください。これは興味深い組み合わせを見つける簡単な方法かもしれません。保存する価値のあるパターンを見つけたら、それを 3 番目のグループの 16 個のキーのいずれかに永久に保存します。WR をクリックしてから目的のキーをクリックします。パターンをロードするには、RD を使用する必要はなく、16 個のキーのいずれかをクリックするだけです。

ユーリッドリズムジェネレーターの実行中に、多くのエフェクトコマンドを使用できます。

DD/DE を使用してディレイを制御し、RV を使用してリバーブを使用したり、SR (サンプルリバーブ) を使用してすべてのアクティブなサンプルを反転したりできます。SR コマンドを繰り返し適用すると、パターンを切り替えたりサンプルをトラックに割り当てたりして、順方向サンプルと逆方向サンプルが結合されるため、特に興味深い結果が得られます。これは、マイクまたはライン入力経由で録音されたサンプルでもうまく機能します。次のページの詳細ガイドを確認してください。また、他と同様に、RS (スタート/ストップ) および RR (リスタート) コマンドを使用して、セッションを WAV ファイルに記録できます。

テンポを調整するには、-/+ キーを使用します

(5 BPM ごとに、センターキーは 120 BPM にリセットされます)。コマンド TEnnn は BPM を直接設定します (例: TE080 または TE240) (範囲は 15 ~ 480 BPM です)。

# 新しいサンプルの録音。

## RECORDING NEW SAMPLES

プリロードされたサンプルに加えて、マイクまたはライン入力を介して新しいサンプルを録音できます。この機能は、Easy Play モード (最初の黄色のボタンを長押しするとアクセス可能) で利用できます。START ボタンを長押しすると録音が始まります。右上隅の赤いライトはマイクのアクティビティを示します。録音を停止するには、STOP ボタンを使用するか、バッファがいっぱいになるまで待ちます。



黄色の LED ライトは信号レベルを示し、青色の LED は経過時間を示します。サンプルをキャプチャするためのメモリは 16 秒あり、これを繰り返し行うことができます。



入力ソース (マイクとライン入力) を選択するには、マイクには AD1 コマンドを、ライン入力には AD2 コマンドを使用します。または、コマンド ADC を使用して一方から他方に切り替えることもできます。

その後、録音が分析され、無音ビットごとに個別のサンプルに分割され、その中にいくつの異なる音が見つかったかが音声で通知されます。サンプルはキーに割り当てられます。サンプルが 4 つ以下の場合、それらは行に割り当てられ、半音階で再生されます。行よりも多くのサンプルがある場合、一部は個々のキーに割り当てられ、録音されたものと同じピッチで再生されます。コマンド LE (レイアウト編集) および SE (サンプル編集) を使用して、後ですべてを再配置できます。

録音されたサンプルは「rec/capture」ディレクトリに保存されるため、削除するまでサウンドは保存されます。SD カードに十分な空き容量が残っているかどうかを時々確認することを忘れないでください。



## SD カードへの録音

SD カードへプレイのすべてを記録できます。RS (録音開始 / 停止) のコマンドを使用します。右上隅の黄色の LED ライトが点灯して SD カードの記録アクティビティを表します。コマンド RR を使用して録音を再開できます。進行中のファイルを閉じて、新しいファイルを開始します。録音された WAV ファイルは Loopstyler のドライブの「rec/session」ディレクトリに保管されます。

## リアルタイムクロック

Loopstyler には内部のクロックがあります。維持するには Li-Po セルを取り付ける必要があります。ただしバッテリーがなくても、ユニットが作動している間、電源が入っていればクロックは動きます。録音された WAV ファイルの名前には日付と時刻が使用されます。

## NOT SURE WHAT IS GOING ON?

コマンド QQ は、現在どこにいるのか、そして現在の設定が何であるかを説明します。また、キーやコマンドの前に Q を 1 つ入れて、それが何をすることを聞いてみてください。

# MIDI インターフェースの使用

## USING THE MIDI INTERFACE

Loopstyler は外部 MIDI キーボードから制御したり、ノートを他のデバイスに送信したりできます。3.5mm TRS コネクタとスライドスイッチを備えた双方向の MIDI インターフェイスを備えており、スイッチは上方向が OUT、下方向が IN です。MIDI IN アクティビティを示す青色の LED ライトもあり、コネクタのある側からユニットを見ると最もよく見えます。



各ユニットには 3.5mm - DIN5 アダプターが付属しているため、他のさまざまな楽器と接続できます。Loopstyler は現在 USB HOST モードでは動作しないため、USB 経由でコントローラーを接続することはできません。

MIDI OUT モードでは、Loopstyler はスタイラスによってトリガーされたノート、またはシーケンサー、アルペジエーター、ユークリッドリズムなどによって演奏されたノートを送信するだけです。

MIDI IN モードでは、すべての MIDI チャンネルを聴きます。各チャンネルは特定のサウンドエンジンを制御します。Loopstyler で現在どのパッチやシーケンスが実行されているかに関係なく、いつでも同時にプレイできます。もちろん、MIDI コントローラーを使用してシーケンスをプログラムすることも可能です。

低い方の MIDI チャンネルはシンセサイザーのサウンドエンジンに割り当てられ、高い方の MIDI チャンネルは直前にロードされたパッチのサンプルをプレイするためのものです (キーに割り当てられていないパッチを含む)。2つの動作モードがあり、コマンドで切り替えて使用できます。ECC (External Control Chromatic) では各サンプルは1つの MIDI チャンネルを占有し半音階で演奏できます。これはピッチが決まっているサンプルに便利です。ECS (External Control Samples) は、単一の MIDI チャンネルのキーごとに1つのサンプルを割り当てます。これはドラムやパーカッション、サウンドエフェクトに最適です。

## 入力の調整

入力の調整 コマンド LV で入力レベルを調整するとき、コマンド LSTR (Listen Through) を使用してマイクまたはライン入力からの信号を聞くと便利な場合があります。通常サウンド処理に戻すには、QT (Quit) を使用します。

\*一度使用すると、コマンド QT は LSTR モードからのみ終了し、LV モードからは終了しないことに注意してください。

## 日時の設定

日付と時刻を設定する時計を手動で設定するには、コマンド SD (日付の設定) と ST (時間の設定) の後に、それぞれ6つまたは4つの数字を続けて使用します: SDddmmyy / SThhmm。たとえば、2024年1月27日、13:37に設定するには、コマンド SD270124 ST1337 を入力します。

Loopstyler は PC に接続されるたびに現在の日付と時刻を把握しようとします。

## ファクトリー・リセット

何か問題が発生した場合は、FRST コマンドを使用してすべての設定をリセットしてください。ユーザーが作成したデータ (パッチ、シーケンス、レコーディング) は消去されません。

## モード 2 ~ 4 の説明について

テーブループ、マルチトラック・シーケンス、コードプログラミングの手順 ( デモンストレーションビデオを含む ) は、メーカー Web サイト [LOOPSTYLER.COM/MANUAL](http://LOOPSTYLER.COM/MANUAL) で公開されています。

## ファームウェアのアップデート

- 1) 付属の USB ケーブルを使用して Loopstyler を PC に接続します。
- 2) 新しいディスクドライブが表示されます。download\_updates.html ファイルを開きます。
- 3) 「Download updates here」 のリンクをクリックします。
- 4) オンラインの指示に従います

USB ケーブルを使用する代わりに、SD カードを取り外してコンピュータのカードリーダーに挿入し、ステップ 2 に進むことができます。SD カードを安全に取り外す方法については、このマニュアルの 3 ページを参照してください。

*We're here to help!*

Contact us via [PHONICBLOOM.COM](http://PHONICBLOOM.COM)  
Email us at [info@phonicbloom.com](mailto:info@phonicbloom.com)

Follow us on Instagram:  
[@phonicbloom](https://www.instagram.com/phonicbloom)  
[@gechologic](https://www.instagram.com/gechologic)

Find demos and tutorials at:  
[LOOPSTYLER.COM/DEMOS](http://LOOPSTYLER.COM/DEMOS)

